

平成30年度
事業計画書

通所介護

勝原デイ・サービスセンター

法人理念 「いたわりと思いやり」 「地域福祉の拠点として」

1. 事業の内容

事業の指定	(介護予防) 通所介護
事業の名称	勝原デイ・サービスセンター
指定番号	2874000967
施設の所在地	〒671-1201 姫路市勝原区下太田 573 TEL 079-273-1311 / FAX 079-273-4321
事業開始	平成元年10月1日
管理者	施設長 石田文徳
利用定員	25人/日
通常の実施地域	姫路市(勝原区・大津区・網干区・広畑区・余部区・青山・太市) 太子町
営業日	月曜日～土曜日(9:00～17:45)
サービス提供時間	9:15～16:30

2. 事業目標

次に掲げる年度目標の具体的対応策を周知・実行し、理念の実現を目指す。

目 標	機能訓練や日常生活動作の向上につながる活動の種類を倍増させることで意欲を高めるとともに、心身機能の維持・向上を目指す。
理 由	29年度では事業目標として機能訓練の充実を掲げ、取り組んだことで、一定の成果をあげることができた。ただ、利用者の参加意欲の向上や心身機能の維持・向上においては、今までの取り組みを継続し、深めていくことが必要であるため。
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機能訓練指導員と生活相談員を中心として、機能訓練や活動における外部研修に参加する。 2. 研修の内容は、毎月の事業所会議で職員に周知していくとともに、各職員からも活動内容を発表にて提案してもらう機会を設ける。 3. 法人内で運営されている他の通所介護事業の生活相談員と実施する毎月の相談員会議にて、機能訓練の内容やレクリエーションにおける情報交換を行う。

3. 職員配置

介護保険法に定められている人員配置基準を遵守し、利用者の方々が、安全で快適生活が過ごせるように次の人員を配置する。

職 種	常 勤	非常勤		フルパート		パート		合 計	
		人数	換算	人数	換算	人数	換算	人数	換算
管 理 者	1							1	1.0
生 活 相 談 員	1							1	1.0
機 能 訓 練 指 導 員						1	0.4	1	0.4
看 護 職 員		1	0.9	1	0.7			2	1.6
介 護 員	2			2	1.8	1	0.7	3	4.5
運 転 手						3	1.0	3	1.0
合 計	4	1	0.9	3	2.5	5	2.1	11	9.5

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、全ての職員が次のいずれかの委員会に属し、他職種との連携をより一層密に、効果的な事業展開を図る。

委員会名	活 動 目 標	活動回数
認知症委員会	認知症介護における各職員のスキルアップの為に、認知症の理解と日々の支援の中での処遇等の意識向上を図る。	毎月1回開催 【施設内研修】 4月
リスク管理委員会	事故報告書の集計・管理を行い事故の原因を追究し、事故防止につなげる。ヒヤリ・ハット報告書のマニュアルを作成し、各職員に周知徹底を図る。	毎月1回開催 【施設内研修】 8月・3月
感染・衛生委員会	感染症予防のマニュアル（インフルエンザ、ノロウイルス等）の見直しと施設内研修での各職員への対応策の周知徹底を図る。	毎月1回開催 【施設内研修】 5月
医療的ケア安全対策委員会	終末期における看取りの指針を見直し、施設での看取りについて考え、施設内研修にて各職員に周知徹底を図る。	毎月1回開催 【施設内研修】 7月
栄養委員会	非常・災害時の食事について備蓄食品の取り扱い方、保管場所、調理設備や食器等、どのような備えが必要であるのか、全職員で情報共有を図る。	毎月1回開催 【施設内研修】 6月
介護向上委員会	利用者個々の身体機能における拘縮予防について、日々の生活の中で行える体操やストレッチを活用して予防を図る。	毎月1回開催 【施設内研修】 9月

委員会名	活動目標	活動回数
褥瘡・拘縮予防委員会	看護師、管理栄養士、PT、OTと連携を取りながら、褥瘡における知識や予防法、適切なポジショニング等のマニュアルを作成し、施設内研修で周知を図る。	毎月1回開催 【施設内研修】 10月
安全対策委員会	毎月、避難訓練を実施、及び緊急時（救急、地震、水害等）の対策について周知徹底を図る。	毎月1回開催 避難訓練毎月 【施設内研修】 12月
身体拘束・虐待防止委員会	生活の場である施設で安易な身体拘束を防ぎ、又、利用者の尊厳や人権を意識した支援ができるように施設内研修を行い、各職員に周知徹底を図る。	毎月1回開催 【施設内研修】 2月
レクリエーション委員会	利用者が活発に楽しめるレクリエーションの企画と職員のレクリエーションや年間の季節の行事に対するモチベーションの向上を図る。	毎月1回開催 各種行事担当
OJT教育委員会	新人職員、若手の職員の育成・指導において、指導方法の統一化を図る。	毎月1回開催 又は 必要時開催

5. 年間行事計画

利用者の方々が家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、メリハリのある生活や馴染みの習慣が継続できるように季節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	内容
4月	①お花見	①近隣にドライブに出かけ、花見を楽しむ。
5月	①つくし会との交流会 ②朱の会との交流会	①・②ボランティアの方による舞踊、手品等を鑑賞する。
7月	①七夕会 ②やながせ祭り見学	①七夕の笹飾りを楽しみ、展示する。 ②やながせ保育園の夏祭りを見学する。
8月	①和太鼓交流会	①ボランティアによる和太鼓演奏を鑑賞する。
9月	①寿会	①ボランティアによる舞踊鑑賞を楽しむ。
10月	③ドライブ外出（コスモス畑見学）	①ドライブに出かけ、コスモス畑を觀賞し、散策する。

月	行事内容	内容
11月	①虹いろの風との交流会 ②東坂老人会との交流会	①・②ボランティアによる歌、ダンス、銭太鼓を鑑賞する。
12月	①クリスマス会	①クリスマスイベントを行う。
1月	①初詣（吉備神社・魚吹神社） ②書初め	①神社へ初詣の参拝に出かける。 ②新年の書初めを行う。
2月	①節分（豆まき）	①節分の豆まきを行う。
3月	①ドライブ外出（梅林公園見学）	①ドライブに出かけ、梅の花を觀賞する。
毎月	①園だよりの発行	①施設での活動内容や取り組み等を毎月1回広報誌として発行する。

6. 施設の安全対策

利用者の方々の安全な生活を継続するため、予測が難しい災害への対策を次のとおり行い、防災意識を高める。

月	訓練種目	内容
4月	防災設備訓練	防災に関する設備の使用方法的訓練
7月	消防訓練（日中体制）	日中体制での避難誘導の流れの確認
9月	地域防災訓練	地震を想定した、地域との連携訓練
12月	AED・心肺蘇生の研修	緊急時の心肺蘇生及びAED使用方法についての訓練
1月	消防訓練（日中体制）	日中体制での避難誘導の流れの確認
3月	消防設備点検 ※網干消防署立会	消防署立会による消防設備の確認

7. 施設内職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研 修 名	対 象	研修担当
4月	倫理及び法令遵守、 個人情報保護に関する研修 認知症研修	全職員 介護職員	理事長・施設長・事務長 認知症委員会
5月	食中毒、感染症予防研修	全職員	感染・衛生委員会
6月	栄養に関する研修	全職員	栄養委員会
7月	医療的ケア安全対策研修	介護職員	医療的ケア 安全対策委員会
8月	リスク管理研修	全職員	リスク管理委員会
9月	介護技術に関する研修	介護職員	介護向上委員会
10月	褥瘡・拘縮予防研修	介護職員	褥瘡委員会
11月	総合支援事業に関する研修	全職員	在宅サービス委員会①
12月	安全対策に関する研修	介護職員	安全対策委員会
1月	地域包括ケアシステムに関する研修	全職員	在宅サービス委員会②
2月	身体拘束・虐待防止に関する研修	全職員	身体拘束 虐待防止委員会
3月	リスク管理研修	全職員	リスク管理委員会

8. 研修計画

各職員の職種と役割、経験年数に合わせて、習得すべき能力やスキルを明確にし、それに応じた研修への参加を促す。

対 象	研 修 内 容	研 修 名
管理職・事務員	・ 社会保障及び公的年金の種類や役割について	社会保障・公的年金研修
生活相談員 訓練指導員	・ 第一興商のカラオケを活用した音楽健康セッションのプログラムについて	音楽療法研修
看護職員 介護職員	・ 介護と看護の医療面における連携のあり方や看取りについて	看取りケア強化研修

対 象	研 修 内 容	研 修 名
介護職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアをする側・される側のどちらも負担の少ない介護技術について 	介護技術研修
運転手	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーとしての運転傾向の自己覚知や運転における意識向上について 	安全運転研修
法人全体	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の倫理に関する意識向上及び虐待防止研修 	職員倫理研修
法人全体	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉のプロとして日々の業務における接遇のあり方について 	接遇研修
法人全体	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の健康増進及び生活習慣病等について 	産業医研修